

学報

2020年1月 Vol. 749



瑞穂市と連携に関する包括協定を締結

| | |
|---|----|
| 第5回ウィンタースクールを開催 | 01 |
| 化学安全セミナーを開催 | 03 |
| 「十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―」を開催 | 04 |
| 「防災イベント 災害への備え」を開催 | 06 |
| 令和元年度中部地区COC事業採択校情報交換会及びぎふCOC+事業推進コンソーシアム 成果発表会を開催 | 07 |
| 「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施 | 09 |
| ブリコンサークルが「アジアブリッジコンテスト2019」で入賞 | 10 |
| 「外国人留学生対象 活躍する外国人材との懇談会」を開催 | 11 |
| 瑞穂市と連携に関する包括協定を締結 | 12 |
| 学位授与 | 13 |
| 表彰受賞者 | 14 |
| 外国人研究者の受け入れ | 15 |
| 産官学連携の実施状況 | 16 |
| メディア掲載一覧 | 17 |
| 諸会議 | 21 |
| 主要日誌 | 23 |
| 人事異動（学内限定） | 24 |

第5回ウィンタースクールを開催

グローバル推進機構は、12月2日（月）～27日（金）にかけて、5回目の実施となるウィンタースクールを開催した。本年度もこれまでと同様に、ジョイント・ディグリープログラム（国際連携専攻）の相手大学である、インド工科大学グワハティ校及びマレーシア国民大学から学生を受け入れた。

5名の参加学生たちは本学滞在中に、研究室でのラボワークや日本文化体験、企業見学など、様々な活動を行った。

日本文化体験では、日本語・日本文化教育センター主催の十二単の着装体験をしたり、岐阜市内の和菓子店にて和菓子作り体験をしたりし、日本の伝統文化に触れる機会となった。

17日（火）の企業見学では、三重県の（株）シンフォニアテクノロジーを訪問し、同社の広範にわたる事業についての説明を聞き、研究施設を見学した。訪問は参加学生たちにとって大変貴重な機会となった。

19日（木）には成果報告会を行い、参加学生らはウィンタースクールで学んだことや、ラボワークでの研究成果や考察等を体系的にまとめ、プレゼンテーション形式にて発表した。成果報告会の終盤には、本学森脇学長から「今回の体験を通じて、皆さんはそれぞれの専門分野での研究活動に精力的に取り組まれ、有意義な日本文化体験ができたことでしょう。皆さんが岐阜大学や岐阜県で過ごされたこの短い一時を心に刻み、願わくは、岐阜大学に再び来て学んでいただけるととても嬉しく思います。」という講評があった。また、鈴木理事（国際・広報担当）・副学長から参加学生一人一人に対してウィンタースクール修了証が手渡された。

ウィンタースクールが、岐阜大学への留学体験の場であるだけでなく、本学学生や教職員にとっての、国際協働教育のより良い理解の場となることを期待して取り組んでいる。



十二単着装体験



和菓子作り体験



企業見学



成果報告会

化学安全セミナーを開催

12月4日(水)、化学実験を行う本学学生、教職員並びに理科教育や安全管理に携わる方々を対象とした実験の安全を考えるセミナーを本学講堂で開催し、高校教員、他大学の教職員など学外者18名を含む計280名の参加があった。

名古屋大学環境安全衛生管理室の林瑠美子准教授から「化学物質の安全～事故事例から学ぶ～」、同じく富田賢吾教授から「実験室における『火災』を考える」と題した講演があり、その中で、大学で発生した事故事例や実験室で火災が起きた場合のシミュレーションなど、映像を交えた説明があり、化学物質の危険性や火災の恐ろしさについて、事故例から学ぶことも重要であると話された。

また、本学工学部ものづくり技術教育支援センターの梶原謙次郎技術専門職員から「岐阜大学での安全衛生の取り組み」、本学統括環境管理責任者の櫻田修教授から「岐阜大学の環境の取り組み」について説明を行った。

参加者からは、「事故映像が衝撃的でした」「化学物質の怖さを知ることができました」「これからの実験ではこれまで以上に気を付けたい」などの感想が寄せられた。

本学は今後も環境安全衛生について継続的な活動を行い、環境負荷の少ない安全・安心なキャンパスの維持に努める。



会場の様子

「十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―」を開催

本学日本語・日本文化教育センター（以下日文センター）は、12月11日（水）、日文センター和室において、日本文化ワークショップ「十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―」を開催した。

当日は、日文センター所属の日本語・日本文化研修コース履修生（以下日研生）や社会文化プログラム履修生をはじめ、本学に在籍する留学生や日本人学生及び教職員、更にウィンタースクールプログラムに参加しているインド工科大学グワハティ校とマレーシア国民大学の学生等約40人の参加があった。

この講義は今年度で6回目となり、「本物にふれる」という日文センターのコンセプトに基づき、本学の学生を対象とした日本文化の体験型教育の一環として開催したものである。講師は、和服の着付けを専門に指導されている伊藤慶子氏、佐藤千里氏、他4名の方々であった。講師の方々は紋付・袴の正装で立ち合わせ、会場に雅楽のBGMが流れる荘厳な雰囲気の中で行われた。

日文センターの土谷教授から、日本語・英語両言語で十二単の歴史や基礎知識について説明があった後、モデル希望者の中から選抜された日研生のチュアンスワニッチ・アンヤマニーさん（タイ）が、小袖と長袴、化粧の下準備をし、髪に釵子を付けて会場に入室した。

十二単の着付けでは、講師は作法に従い、「御方様」であるチュアンスワニッチさんに敬意を表しながら、^{ひとえ}単、^{いつぎぬ}五衣、^{うちぎぬ}打衣、^{うわぎ}表着、^{からぎぬ}唐衣、^も裳を順に着付けました。留学生たちは、緑・蘇芳（すおう）（ピンク）・紅の鮮やかな衣をまとっていく様子に興味深く見入っていた。着付け終了後の質問の時間には、「トイレに行くときどうするのですか」「妊娠している人も着ますか」などの質問があり、伊藤講師からお答えいただいた。その後、十二単に^{ひおうぎ}檜扇を持ったチュアンスワニッチさんを囲む記念撮影の輪ができた。

重ねたまま脱いだ十二単は形を保つことができ、そのまま羽織ることができる。希望する学生が次々と羽織り、重さに驚きながら友だち同士で写真を撮り合っていた。本講義は、日本の伝統文化の奥深さ、美しさを堪能することができた有意義なひと時となり、日本文化教育の充実にもつながるものとなった。



着付けの様子



日研生と着付けモデル



ウィンタースクールの学生と着付け
モデル



全員で記念撮影

「防災イベント 災害への備え」を開催

令和元年12月14日（土）に、本学において岐阜市（公益財団法人岐阜市国際交流協会）による「防災イベント 災害への備え」が、本学との共催で開催された。

このイベントは、「外国人市民のための防災体験」と題した外国人向け講座と、「災害時の外国人支援を考える」と題した外国人支援者向け講座から構成されており、外国人向け講座では、地震が起こったらどうしたらいいのか、避難所はどういうところなのかを、外国人支援者向けの講座では、災害時に、言葉や文化の違う外国人に対してどのような支援が必要なのかを参加者の間で議論しながら考えた。参加者は97名で、それぞれの立場で積極的にイベントに参加していた。

イベントでは、実際に岐阜大学の体育館に避難所を設営し、外国人参加者が被災者として避難所の体験をしたり、被災者として参加した外国人に対して、外国人支援者による聞き取り等を通して、必要な支援の確認を行ったりした。また参加者は、非常食の試食、AEDの使い方、自分の住む地域の避難所の確認などを、スタンプラリー形式で体験しながら防災知識を身に付けていた。

参加者からは、非常に勉強になり、防災意識が高まった、支援を必要とする人を手伝う自信になったなどの声があった。



体育館での参加者の様子



避難所での外国人避難者に対する外国人支援者による聞き取り

令和元年度中部地区 COC 事業採択校情報交換会及び ぎふ COC+事業推進コンソーシアム成果発表会を開催

令和元年12月14日(土)、中部地区 COC 事業採択校情報交換会を開催した。本情報交換会は平成25年度から岐阜大学が幹事校として実施しているものであり、富山大学・福井大学・岐阜大学・中部大学・日本福祉大学・金沢工業大学が参加した。

富山大学及び岐阜大学の COC 事業の成果の発表の後、COC 及び COC+事業の継続についての意見交換にて、森脇岐阜大学長から、岐阜大学将来ビジョンについて説明があり、全体を通じた意見交換にて、各校の課題への対応状況や今後の計画等について活発な情報・意見交換が行われ、COC 事業採択校情報交換会についても来年度以降も継続して開催することを確認した。

また、中部地区 COC 事業採択校学生交流会について今年度も開催することを確認し、昨年11月に福井大学と共催で開催した「はばたけ地域創生士！サミット」の第2回目の称号サミットも兼ねて、令和2年3月2日(月)に開催することとした。

中部地区 COC 事業採択校情報交換会に引き続き、ぎふ COC+事業推進コンソーシアム成果発表会を開催した。この成果発表会は、ぎふ COC+事業の参加大学(岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学)の学生たちが取り組んだ活動について成果を発表し合う場であり、支援をいただいた地域や企業の方々への成果還元の間として位置付けている。

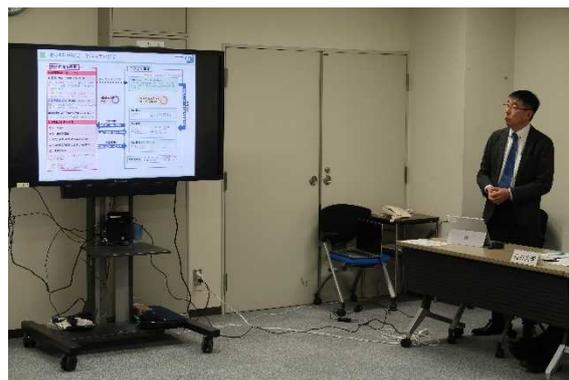
今年度は冒頭で森脇岐阜大学長から開会の挨拶をいただき、参加大学共通プログラムの一つである「サマースクール2019inひだ」の4コースそれぞれの発表と、各参加大学の独自プログラムについて1チームずつ、合計9つの発表があった。各発表で互いに質問を投げかけあい、見学にきていただいた受入先の自治体や企業の方からのコメントもいただくことができた。最後に、ぎふ COC+事業推進コンソーシアムの統括事業推進コーディネーターの成原氏からは、各発表に対する講評があるとともに、社会の実態を学ぶこと、またチームで成果を作り上げる大切さを伝える言葉があった。

この発表会は今年が3度目の開催となり、発表学生にとって、他大学の地域と協働する取組みを知り視野を広める場であり、学びの振り返りを促すだけでなく取組みの広がりについて理解を深める場としても機能している。

<中部地区 COC 事業採択校情報交換会の様子>



挨拶をする森脇岐阜大学学長



富山大学の発表の様子



情報交換会の様子



挨拶をする野々村理事・副学長

<ぎふ COC+事業推進コンソーシアム成果発表会の様子>



発表の様子（サマースクール飛騨市コース）



全体質疑応答



成原 CD による講評と閉会挨拶

「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施

岐阜大学は、12月16日（月）「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を学長室で行った。

本学は、十六銀行と環境保全における連携に関する覚書を締結しており、その一環として、環境問題に対する意識の啓発を目的に、「エコ活動啓発ポスター」のデザインを岐阜大学教育学部附属小・中学校の児童・生徒に募集している。

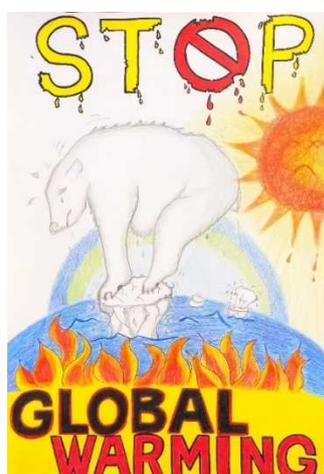
ポスターの募集企画は9回目。多数の応募があり、厳正な審査の結果、金賞2作品、銀賞2作品、銅賞2作品及び審査員特別賞4作品を決定した。

式では、受賞した児童・生徒一人ひとりに本学森脇学長と十六銀行白木取締役常務執行役員から賞状と副賞が手渡された。受賞者に対し、森脇学長から「学校や家庭、地域などで環境に関する活動を広めていってほしい」、白木取締役から「1つ1つの作品から地球規模で問題となっている環境問題に対する関心の高さや知識の深さを感じた。より住みやすい街になるよう取り組んでいきましょう」と言葉がかけられた。須本教育学部附属小・中学校長は「この表彰をきっかけにして、引き続き環境問題についての取り組みを広げたい」と述べた。



受賞した児童・生徒との記念撮影

金賞受賞作品



中学校部門
「HELP!!世界を救え」



小学校部門
「捨てるならもらわない！
わたしの責任」

ブリコンサークルが「アジアブリッジコンテスト2019」で入賞

8月24日（土）から27日（火）までインドネシアで行われた「アジアブリッジコンテスト2019」においてに出場した本学ブリコンサークルのチームが全体7評価部門（構造コスト、架設コスト、トータルコスト、たわみ予測、美観、プレゼンテーション、総合）中6部門で入賞し、総合2位を受賞した。

アジアブリッジコンテストは、大学生の国際交流、橋梁工学に関する専門知識の実践の場、エンジニアリングデザインの醸成を目的として2008年から開催されており、河川橋梁の建設を模擬するもので、橋としての機能性、美観、プレゼンテーション、建設コストを競う大会である。本学は2011年度の大会から出場しており、初出場ながら2011年度大会で総合優勝したのを皮切りに、2012年度大会も総合優勝し、2連覇を達成した後、各部門で多くの受賞をした実績があり、今年度からはサークルとして組織を立ち上げ、参加した。

12月18日（水）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員の工学部社会基盤工学科 木下准教授による森脇学長への報告会が行われた。大会に出場した学生は、「今大会で、総合部門での優勝は逃しましたが、例年上位入賞している大学がいる中で総合2位に入賞できたことは大きな意味がある。今までより倍の時間をコンテストに向けて費やした。来年はアジアに留まらず、カナダの国際大会にも出場予定である」と報告した。森脇学長は、「サークル化で工学部のみならず、他学部もメンバーとして参加できれば良い。カナダの国際大会も期待しています」と称えた。



模擬橋梁の説明を受ける森脇学長



集合写真

「外国人留学生対象 活躍する外国人材との懇談会」を開催

グローバル推進機構は、12月18日（水）に留学生就職促進プログラムの一環として、岐阜観光コンベンション協会の協力により、株式会社JTBから講師を迎え、「外国人留学生対象 活躍する外国人材との懇談会」を本学図書館1階会議室で開催し、外国人留学生12名が参加した。

懇談会は、初めに、後藤 貴康岐阜支店長からJTB法人事業が展開している「旅行事業」、「コミュニケーション事業」、「地域交流事業」、「総務系ソリューション事業」における、事業概要、計画、展望等について、説明があった。次に、名古屋事業部 GLOBAL MICE 営業第二課 スレスタ アノジ氏（ネパール）から、日本での学生生活、就職活動、日本の企業や文化にどのようになじんでいったのか、など自身の経験に基づく後輩たちへのアドバイスを中心とした講演があった。

事業説明、講演に続いて行われた質疑応答では、外国人留学生から積極的に質問があり、その後の交流会では飲み物を飲みながら、ざっくばらんに情報交換、意見交換を行い、大変有意義な時間となった。

懇談会後のアンケート結果からは、好評であり、参加した外国人留学生の就職活動へのモチベーションが高まる懇談会となった。



講演会の様子



質疑応答の様子

瑞穂市と連携に関する包括協定を締結

本学と瑞穂市は、12月24日（火）にまちづくり及びコミュニティの活性化や人材育成、産業の振興及び地域情報化等、6項目の包括的な協定を締結した。

本学と瑞穂市は、これまでに瑞穂市の公共交通や人材育成、地域防災計画等の観点において協力を進めてきたが、これに加えて本協定は、岐阜大学と瑞穂市が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的としている。

なお、本学が地方自治体と包括連携協定を締結するのは26件目である。

協定締結式では、森脇学長から「瑞穂市は都市圏にあり、まちづくりが成功しており、その三つの強みとして、岐阜県下において人口が伸び続けており、一次・二次・三次産業がバランスよく配属されており経済力が強く、市内に朝日大学があり教育力も強いまち、と認識している。これからは包括連携協定の下で、大学側が勉強させていただくことが多いと思われ、これまでの個別の協力を束ねることによって、大学にとっても瑞穂市にとってもより良い方向に持っていきたい。」と、森瑞穂市長からは「瑞穂市は11月6日に人口が55,000人を超え、市制施行した平成15年5月の約47,500人から約7,500人増加しているものの、若い世代の方と従来からの方との地域づくりが課題である。これから10年ぐらいは人口が伸びていくと予測されているが、その後減少するため、人口が増えている間に、しっかりとした都市としての基盤づくりや、地域の絆を深めるために、今回の協定の中で大学の協力を得て、まちづくりや人材育成を進めていきたい」と挨拶があった。

今後、岐阜大学と瑞穂市は、防災や危機管理や地域居住区への学生ボランティアの派遣等について協議を進めていく予定である。



挨拶する森脇学長



協定書を手にする森脇学長（右）と森瑞穂市長

学位授与

| 学位の種類 | 学位記番号 | 氏名 | 授与年月日 | 学位論文名 |
|--------|-----------|-----------|------------|---|
| 博士(医学) | 医博乙第1499号 | 守山 洋司 | 令和元年12月18日 | Intraocular pressure change during laparoscopic sacral colpopexy in patients with normal tension glaucoma. (正常眼圧緑内障患者における腹腔鏡下仙骨膣固定術の与える眼圧変化) |
| 博士(工学) | 工博甲第558号 | YILIGUOQI | 令和1年12月31日 | スマートフォンを用いた路面平坦性の簡易診断手法の開発 (Development of simple diagnostic method for road surface roughness measured by smartphone) |
| 博士(工学) | 工博甲第559号 | 畑佐 陽祐 | 令和1年12月31日 | 凍結防止剤の変更による鋼橋の腐食抑制効果の評価 (Evaluation of inhibitory effect of substituting deicing materials on corrosion of steel bridges) |
| 博士(工学) | 工博甲第560号 | HAN MEI | 令和1年12月31日 | Non-floating two-phase clock adiabatic logic circuit:analysis and application (フローティング構造を有しない2相クロック断熱的論理回路の解析と応用) |
| 博士(工学) | 工博甲第561号 | TIAN YE | 令和1年12月31日 | Research on noise reduction based on mode estimation utilizing gaussian property (ガウス性を用いたモード推定に基づく雑音低減に関する研究) |

表彰受賞者

ビジョン技術の実利用ワークショップViEW2019 優秀論文賞「画像応用技術専門委員会小田原賞」
受賞

受賞者：加藤 邦人 工学部准教授

業績名：ビジョン技術の実利用ワークショップ ViEW2019 優秀論文賞「画像応用技術専門委
員会小田原賞」受賞

受賞日：令和元年12月6日

外国人研究者の受け入れ (12月)

| 受入部局 | 氏名 (国名) | 所属・職名 | 期間 | 研究題目 |
|-------------|-----------------------|-------------------------------|---------------------------|---|
| 流域圏科学研究センター | Zhou Lingyuan (中国) | 南昌航空大学経済管理学院・准教授 | 2019/12/1～ 2020/11/30 | 日本の公共文化施設の環境モニタリングシステムの構築に関する研究 Study on the Construction of Environmental Monitoring System for Public Cultural Venues in Japan |
| 流域圏科学研究センター | Li Mingzhu (中国) | Shaanxi Normal University・准教授 | 2019/12/20～ 2020/12/19 | 森林土壌に生息するPhytophthora属菌のリスク評価 Risk assessment of Phytophthora species in forest soil in Japan |

産官学連携の実施状況

○共同研究

(令和元年12月契約分)

| 部局名 | 研究代表者 | 企業等名 |
|-------------|--------|---|
| 工学部 | 横田 康成 | アワーズ(株) |
| 応用生物科学部 | 西津 貴久 | 桜井食品(株)・岐阜県食品科学研究所 |
| 工学部 | 吉田 弘樹 | (株)関ヶ原製作所 |
| 応用生物科学部 | 西津 貴久 | (株)日清製粉グループ本社・京都大学 |
| 工学部 | 國枝 稔 | (一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所・清水建設(株)・住友大阪セメント(株) |
| 工学部 | 河瀬 順洋 | (株)東芝 |
| 研究推進・社会連携機構 | 中川 二彦 | ニチコン(株) |
| 工学部 | 沢田 和秀 | 大日コンサルタント(株) |
| 工学部 | 沢田 和秀 | 大日コンサルタント(株) |
| 研究推進・社会連携機構 | 王 志剛 | アサヒフオージ(株) |
| 工学部 | 能島 暢呂 | 三井住友建設(株) |
| 大学院医学系研究科 | 矢部 大介 | 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) |
| 流域圏科学研究センター | 李 富生 | メタウォーター(株) |
| 応用生物科学部 | 上野 義仁 | (株)GF・Millie |
| 工学部 | 神原 信志 | ウシオ電機(株) |
| 研究推進・社会連携機構 | 志賀 元紀 | 日本電子(株)・名古屋大学 |
| 工学部 | 沢田 和秀 | 立川実業(株) |
| 工学部 | 久明 信太郎 | シンクランド(株) |
| 応用生物科学部 | 杉山 誠 | 共立製菓(株) |
| 研究推進・社会連携機構 | 加藤 邦人 | (株)エヌテック |
| 研究推進・社会連携機構 | 加藤 邦人 | (株)エヌテック |
| 応用生物学部 | 長岡 利 | フォーデイズ(株)・(株)ライフ・サイエンス |
| 研究推進・社会連携機構 | 須賀 晴久 | (株)クレハ |
| 研究推進・社会連携機構 | 速水 悟 | 日本車輛製造(株) |
| 応用生物学部 | 村上 麻美 | 東レ(株) |

○受託研究

(令和元年12月契約分)

| 部局名 | 研究代表者 | 企業等名 |
|-------------|-------|---------------------|
| 大学院医学系研究科 | 深尾 敏幸 | 大阪大学 |
| 応用生物科学部 | 鈴木 徹 | 国立研究開発法人 科学技術振興機構 |
| 工学部 | 仲井 朝美 | 国立研究開発法人 科学技術振興機構 |
| 研究推進・社会連携機構 | 三宅 卓志 | カーボンファイバーリサイクル工業(株) |
| 研究推進・社会連携機構 | 下澤 伸行 | 久留米大学 |

メディア掲載一覧

○新聞

(令和元年12月分)

| 掲載日 | 新聞名 | 内容 |
|--------|-----|--|
| 12月2日 | 中日 | 岐阜大キャンパス収蔵の資料を見学 高齢者ら 20人ツアー ～地域資料・情報センター・地域科学部 富樫幸一 教授～ |
| 12月2日 | 岐阜 | 同窓会で親睦 岐阜大付属小中学校 ～教育学部附属小中学校 須本良夫 教授～ |
| 12月4日 | 岐阜 | 岐阜大生、掘削に熱視線 東海環状道工事見学 トンネル工学学ぶ ～工学部2年生 山本幸平さん他 20名～ |
| 12月5日 | 中日 | 親子でのぞいた顕微鏡 岐阜のシカから寄生虫の新種 ～応用生物科学部 高島康弘 准教授～ |
| 12月5日 | 岐阜 | 「昆虫や植物に影響は」 リニア残土の可見仮置き場 県評価審査会で意見 ～県環境影響評価審査会・会長 神谷浩二 工学部・教授～ |
| 12月5日 | 朝日 | 「35人学級を」 県議会に署名 実行委が提出 ～「ゆきとどいた教育をすすめる県実行委員会」実行委員長 土岐邦彦 名誉教授～ |
| 12月6日 | 中日 | プロのアナウンサーがサプライズ出演 透き通った声で校内放送 ～教育学部附属中学校 生徒会放送部長 野々垣風紗さん～ |
| 12月7日 | 読売 | 未来変える知の交流 来年 岐阜「エンジン01」 テーマ「ナンヤローネ？ナンカヤローネ！」 |
| 12月7日 | 中日 | 市民向け講座多彩 エンジン01 in 岐阜 来年5月、文化イベント県内初開催 |
| 12月7日 | 毎日 | 岐阜で来年「知の交流」 ナンヤローネ？ナンカヤローネ！ |
| 12月7日 | 岐阜 | 来年5月、著名文化人による講座「エンジン01」 ナンカヤローネ！ 「行動促す学び」 願いテーマ発表 |
| 12月7日 | 中日 | "オールフランス"へ意気込み 21日「岐阜大学管弦楽団」が定演 ～岐阜大学管弦楽団 団長・3年 長谷川莉子さん～ |
| 12月8日 | 岐阜 | ◎サタデーコラム：原生自然、生物多様性に重要 ～医学系研究科 國貞隆弘 教授～ |
| 12月8日 | 岐阜 | 発声法、プロに学ぶ 岐大付中 アナウンサー招き講座 ～教育学部附属中学校 生徒会放送部長 野々垣風紗さん～ |
| 12月10日 | 朝日 | ◎研究室から：「逃げない心理」を研究 ～小山真紀 准教授～ |
| 12月10日 | 岐阜 | 「エンジン01 in 岐阜」のテーマ決まる |
| 12月10日 | 岐阜 | 岐阜大の落研が本番へ話芸磨く 15日に岐阜市で柳塾 ～岐阜大落語研究会～ |

| | | |
|--------|------|--|
| 12月11日 | 岐阜 | 「ハラル」パンでムスリムに安心 岐阜市, インドネシア人夫妻が出店 ~元岐阜大大学院留学生 シティ・ヌルジャーさん~ |
| 12月11日 | 日本経済 | ◎中部医療最前線:岐阜大 「救急不毛」返上, 先進県にへり駆使, 車で医師急行 |
| 12月12日 | 中日 | 感動の十二単 岐阜大で留学生が体験 ~タイ人留学生 アンヤマニー・チュアンスワニッチさん~ |
| 12月12日 | 岐阜 | 岐阜の生活・経済テーマに講演会 岐阜商議所女性会 ~教育学部 大藪千穂 教授~ |
| 12月12日 | 中部経済 | ◎中経論壇:日本は技術一辺倒から脱却を 環境問題にライフスタイル変革が必要 ~教育学部 大藪千穂 教授~ |
| 12月13日 | 中日 | 金公園 人集う空間に 岐阜大工学部生デザイン発表 ~工学部社会基盤工学科「景観デザイン」受講2年生~ |
| 12月13日 | 岐阜 | 無料情報誌創刊50号, 最高のギフトに 学生, 誌面制作に奮闘 本社取材「就職選択肢広げたい」 ~学生団体岐阜人 代表・2年 木村彩乃さん~ |
| 12月14日 | 朝日 | 医学部をめざす高校生にエール 高山で医師や医学生 |
| 12月14日 | 岐阜 | 古文書や植物標本 岐阜大資料を展示 美濃加茂できょうから ~「岐阜大学コレクション『岐阜県』を知るために一展」~ |
| 12月14日 | 岐阜 | ◎サタデーコラム:意思疎通の場, 教育に不可欠 ~教育学部 春日晃章 教授~ |
| 12月15日 | 中日 | 外国人が災害時の避難所生活を体験 岐阜大で防災イベント |
| 12月17日 | 岐阜 | 警察官が韓国文化学ぶ 岐阜大留学生招き講座 岐阜北署 ~自然科学技術研究科2年 姜昭娟さん~ |
| 12月17日 | 中日 | 外国人への対応 文化理解し強化 岐阜北署で留学生講演 ~自然科学技術研究科2年 姜昭娟さん~ |
| 12月17日 | 岐阜 | エコポスター10人表彰 岐阜大・十六銀コンクール ~教育学部附属小学校6年 草野栞さん, 附属中学校2年 尾崎正汰さん~ |
| 12月17日 | 中部経済 | エコ啓発ポスター 優秀作品を表彰 十六銀と岐阜大 |
| 12月18日 | 岐阜 | ◎教えてホームドクター:子どもの心の発達③ 幼児前期に自律性, 言語力 後期, 自我芽生え社会性始まる ~医学部附属病院 塩入俊樹 教授~ |
| 12月19日 | 岐阜 | 日本の伝統衣装に触れる 留学生「十二単, きれい」 特別講義で着付け体験 ~タイ人留学生 アンヤマニー・チュアンスワニッチさん~ |
| 12月19日 | 岐阜 | ◎異国の地で働く ぎふの外国人材:鍋屋バイテック会社 ネット広告で成果 中国出身, マーケティング支える ~中国出身 耿云 |

| | | |
|--------|------|--|
| | | 婷さん（応用生物科学部卒）～ |
| 12月20日 | 岐阜 | 生活相談，5言語で対応 岐阜市に外国人センター開所 県内在住の9割カバー ～県国際交流センター理事長 森脇久隆 学長～ |
| 12月20日 | 中日 | 草野さんが金賞 エコ啓発ポスター ～教育学部附属小学校6年 草野栞さん，附属中学校2年 尾崎正汰さん～ |
| 12月20日 | 日本経済 | 中3自殺 いじめ主因 岐阜 第三者委が報告書公表へ ～橋本治 非常勤講師～ |
| 12月20日 | 毎日 | 中3転落死「いじめ自殺」 岐阜・第三者委認定 教員の指導不十分 ～橋本治 非常勤講師～ |
| 12月21日 | 岐阜 | 県内就職に熱視線 ベトナム人留学生 11社と意見交換 |
| 12月22日 | 中日 | 岐山高生徒会など大賞 「防災活動大賞」の公開選考会 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 高木朗義 教授～ |
| 12月22日 | 中日 | 仏の作曲家で構成 迫力の演奏を披露 ～岐阜大管弦楽団第53回 定期演奏会～ |
| 12月23日 | 中日 | 医療関係者の楽団 柔らかな演奏披露 岐阜大病院 ～第20回岐阜大学病院コンサート～ |
| 12月23日 | 中日 | 岐阜の課題 解決策は 県内学生ら研究報告 |
| 12月23日 | 岐阜 | 防災活動大賞に県内3団体表彰 公開選考会 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 高木朗義 教授～ |
| 12月24日 | 中部経済 | ◎研究現場発：犬 ALS モデルを用いた橋渡し研究 2つの神経難病 克服めざして ～応用生物科学部共同獣医学科 神志那弘明 准教授～ |
| 12月24日 | 中日 | 第三者委「学校組織に責任」 岐阜の中学3年いじめ自殺問題 「なかったことにしよう」と... ～地域科学部 近藤真庸 教授～ |
| 12月25日 | 岐阜 | 地域リーダーを育成 瑞穂市と岐阜大が連携協定 ～森脇久隆 学長～ |
| 12月25日 | 岐阜 | 岐阜大生「遊歩道広く，出店しやすく」 若い視点で金公園"刷新" 公開発表会 景観デザイン提案 ～工学部 出村嘉史 准教授，社会基盤工学科「景観デザイン」受講2年生～ |
| 12月26日 | 岐阜 | 「実習校廃止含め見直し」 岐阜市長 市教委に検討要請 |
| 12月27日 | 朝日 | 災害時のトイレ 身近な物で 岐山高の防災活動 大賞に ～清流の国ぎふ防災・減災センター～ |
| 12月27日 | 岐阜 | 哲学カフェ de ぎふ ～元岐阜大教授 吉田千秋さん～ |
| 12月27日 | 中日 | 瑞穂市と岐阜大が人材育成など協定 市役所で締結式 ～森脇久隆 学長～ |

| | | |
|--------|----|--|
| 12月29日 | 岐阜 | 岐阜の教育が変わる⑥ |
| 12月29日 | 岐阜 | コクチバス揖斐川侵入 高い繁殖力, 鮎など在来魚に危機 ~地域科学部 向井貴彦 准教授~ |
| 12月31日 | 中日 | 名大事務業務を一元化 法人統合見据え組織改編 |
| 12月31日 | 岐阜 | 「エンジン01」オープニング企画 若者と知の交流シンポ |

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(令和元年12月分)

| 放送日 | 番組名 | 内容 |
|--------|--------------------------------------|--|
| 12月6日 | CCN 地上デジタル12ch 「エリアトピックス」 | 教育学部 田中伸研究室が主催したひらめき☆ときめきサイエンス【社会を科学する!理想の社会をデザインし,政治家へ提案してみよう!】の様子を紹介 |
| 12月17日 | NHK 岐阜 「まるっと!ぎふ」 18:30~ | 岐阜駅前の問屋町の歴史(ハルピン街)について 地域科学部 富樫 幸一 教授 |
| 12月30日 | ぎふチャン 17:40~ 「お茶の間ステーション」 2時6時 | 『減災ラジオ』 「最前線で活躍する救急医からの冬場の注意点」 医学部附属病院 高次救命治療センター 吉田 隆浩 講師 |

◇第211回 図書館委員会

12月3日(火)

(議事)

1. 令和2年度の電子ジャーナル等部局負担割合(案)について
2. 令和2年度開館日程(案)について

◇第686回 役員会

12月5日(木)

(議事)

1. 岐阜大学医学部附属病院長候補者選考会議委員のうち学長が委嘱する学外の有識者の役員会承認について
2. 教育職員の雇用申請について

◇第687回 役員会

12月12日(木)

(議事)

1. 共同研究講座の設置について
2. 岐阜大学と瑞穂市との連携に関する協定について
3. 寄附講座の設置について
4. 教育職員雇用申請について
5. 令和2年度分教員人事について

◇第8回 部局長・部長会

12月12日(木)

(協議事項)

なし

◇第9回 教学委員会

12月17日(火)

(審議事項)

1. 令和元年度学位記授与式における謝辞・送辞者及び令和2年度入学式の宣誓者の選出について
2. 令和元年度後期授業料免除に係る留年・修業年限超過者の取扱いについて
3. 令和元年度秋季入学料及び後期授業料免除等について

◇第688回 役員会

12月19日(木)

(議事)

1. 特任教員雇用申請について
2. 令和2年度分教員人事について

◇第189回 教育研究評議会

12月19日(木)

(審議事項)

1. 東海国立大学機構設立時の知的財産業務の統合について

◇第93回 経営協議会（メール開催）

12月25日（水）

（議事）

1. 中期計画の変更について
2. 職員給与規則等の一部改正について

◇第689回 役員会

12月26日（木）

（議事）

1. クロスアポイントメントの実施について
2. 教育職員雇用申請について

主要日誌

| 月 日 | 行 事 名 |
|--------|---------------|
| 12/ 14 | 防災イベント 災害への備え |
| 16 | エコポスター表彰式 |
| 21 | げんさい楽座 |